

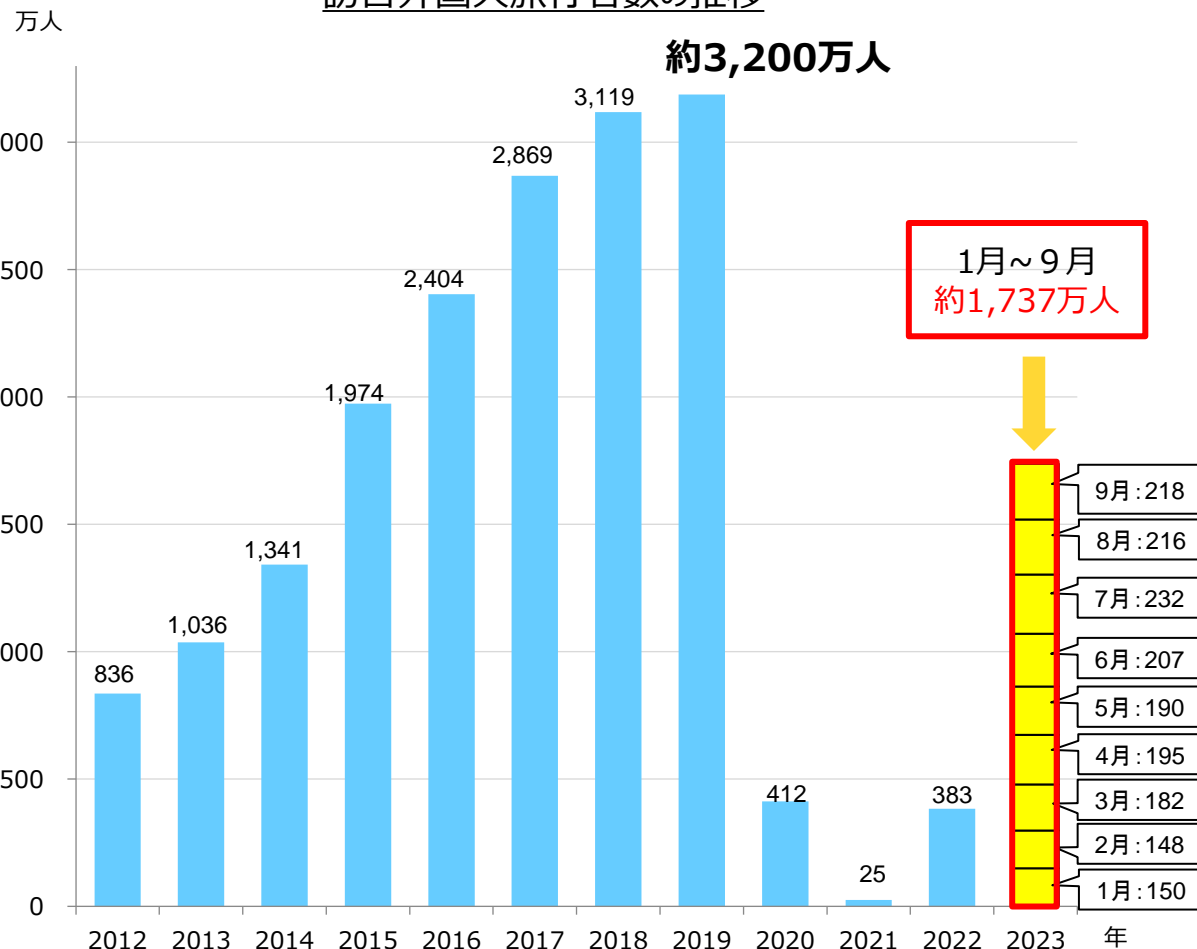
観光の現状について

観光庁

インバウンドの状況(旅行者数)

- 2019年まで飛躍的に増加も、新型コロナの影響により、2020年以降、大幅な落ち込み
- 2022年10月の水際措置の緩和以降、堅調に増加の傾向。
- 9月の訪日外国人旅行者数は約218万人と、**コロナ前の96%の回復**(中国からの訪日を除くと**128%の回復**)となり、1月から9月の累計では**1700万人**を超え、足元ではコロナ前の水準を概ね回復。

訪日外国人旅行者数の推移



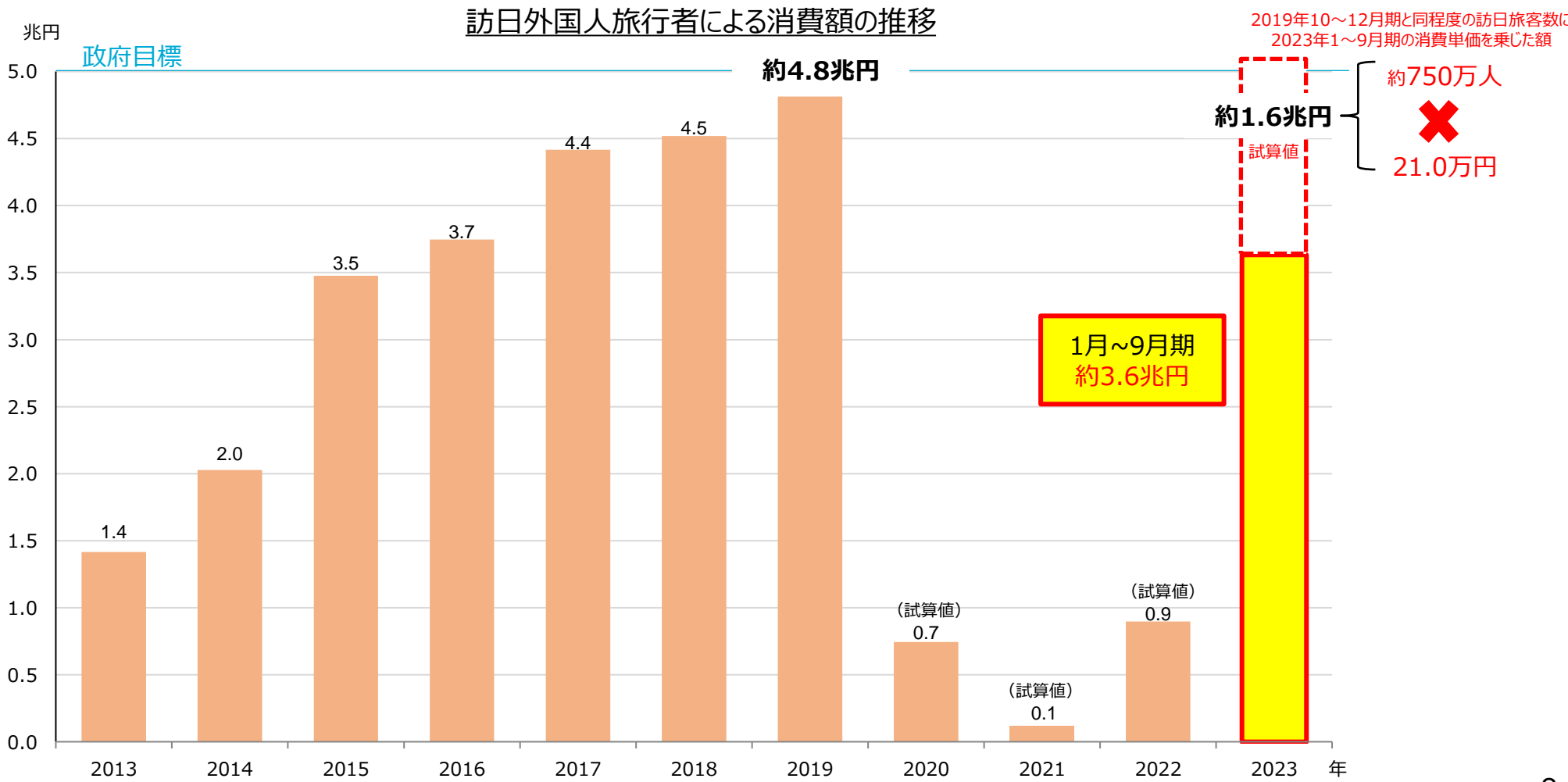
国・地域別訪日者数上位 (2023年9月)

①韓国	57万人
②台湾	39万人
③中国	33万人
④米国	16万人
⑤香港	15万人

出典：日本政府観光局（JNTO）
※ 2022年以前は確定値、2023年1月～7月の値は暫定値、2023年8月～9月の値は推計値

インバウンドの状況(消費額)

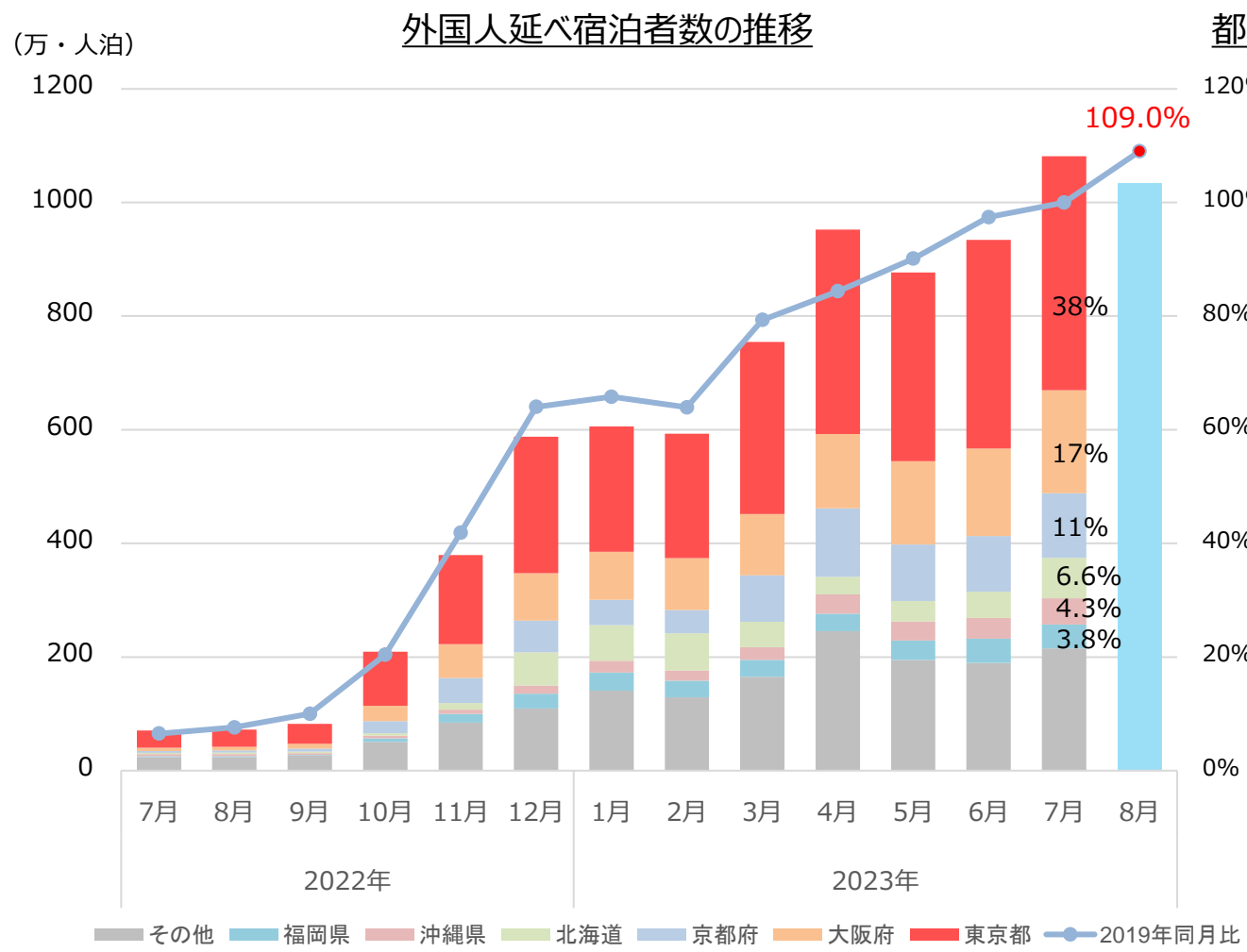
- 2023年1-9月までの合計の訪日外国人旅行消費額は約3.6兆円となり、**年5兆円の政府目標達成も視野に入る勢い**
 - 2023年1-9月までの**訪日外国人一人当たり旅行消費額単価は21万円**となり、**政府目標である20万円を超えている**
- ※平均泊数が伸びたことや円安・物価上昇の影響等が考えられる



出典：「訪日外国人消費動向調査」より算出
 ※2023年は、1～3・4～6月期は2次速報値・7～9月期は1次速報値より算出

インバウンドの状況(延べ宿泊者数)

- 2023年8月の外国人延べ宿泊者数は**1,034万人泊**で、**コロナ前水準超え**（2019年同月比109%）
- 他方、観光需要の回復状況は**宿泊先地域によって偏在傾向**が見られ、**三大都市圏のみで7割を超える**
- 今後、三大都市圏以外の**地方部への誘客を強力に推進**していく



都道府県別外国人延べ宿泊者数 (2023年7月)

三大都市圏 トップ5		
東京都	38%	411.7 万人泊
大阪府	17%	181.3 万人泊
京都府	11%	113.6 万人泊
千葉県	3.3%	35.5 万人泊
神奈川県	2.2%	24.3 万人泊

地方部 トップ5		
北海道	6.6%	71.7 万人泊
沖縄県	4.3%	46.1 万人泊
福岡県	3.8%	41.6 万人泊
広島県	1.2%	12.5 万人泊
山梨県	1.1%	11.5 万人泊

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

外国人旅行者の受入環境の整備

訪日外国人旅行者が、円滑に出入国し、ストレスフリー・快適に旅行を満喫できる環境及び災害など非常時においても安全・安心な旅行環境の整備を図る。

※各画像はイメージ

円滑な出入国・通関等

ストレスフリー・快適に旅行を満喫できる環境の整備

安全・安心な旅行環境の整備

入国審査・税関手続の円滑化



画像補正後

ディープラーニング技術等の活用による出入国手続の円滑化



税関検査場電子申告ゲート（Eゲート）の利便性向上

多言語案内、Wi-Fiの整備

迷わず行ける、いつでも必要な情報を入手できる環境の整備



多言語案内



無料Wi-Fi

観光案内所の機能強化

周遊の拠点となる観光案内所の機能強化



デジタルサイネージを活用した多言語案内と観光情報の発信

災害時の外国人対応の充実



日本政府観光局のコールセンターによる24時間の多言語対応



非常用電源装置等の整備

搭乗関連手続きの円滑化

先端技術の活用等により、旅客の待ち時間を短縮



保安検査場自動ゲート



スマートレーン

公共交通利用環境の向上

観光地までの移動の利便性向上



キャッシュレス決済対応



インバウンド対応型車両の導入

ユニバーサル化

誰もが快適に周遊できる環境の整備

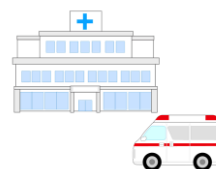


観光スポット等のバリアフリー化



ムスリム旅行者のための礼拝環境整備

外国人患者受入体制の充実



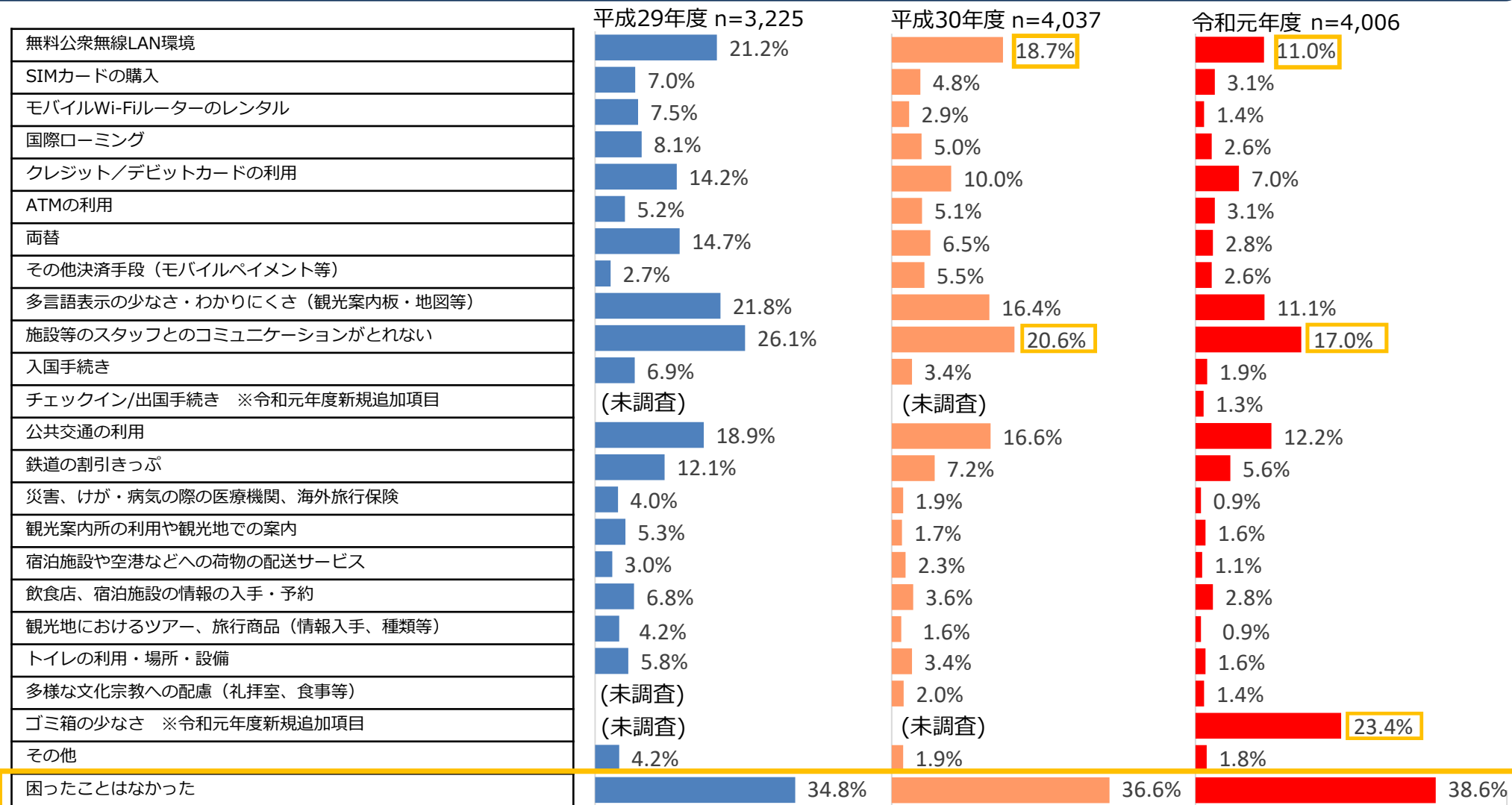
外国人患者受入可能な医療機関リストの作成、JNTOのHPでの公表



海外旅行保険の加入促進

訪日旅行中に全体を通して困ったこと 調査結果3か年比較

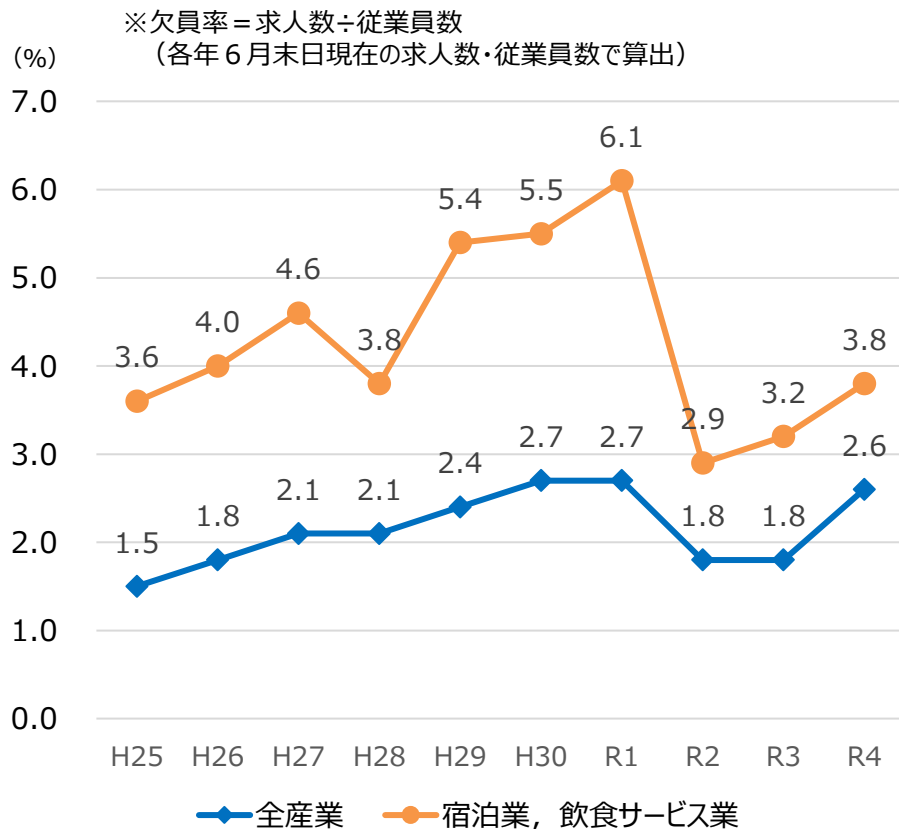
- 訪日旅行中全体を通して「困ったことはなかった」と回答した割合が過去最高の38.6%となり、継続調査している受入環境に関する各項目全てにおいても「困った」と回答した割合が減少した。
- 個別項目では従前から困った割合が高かった「施設等のスタッフとのコミュニケーション」は前年比3.6%減、「無料公衆無線LAN環境」は同7.7%減となったほか、新たに調査項目に追加した「ゴミ箱の少なさ」が、23.4%と旅行中困ったことの第1位となった。



観光産業における人手不足

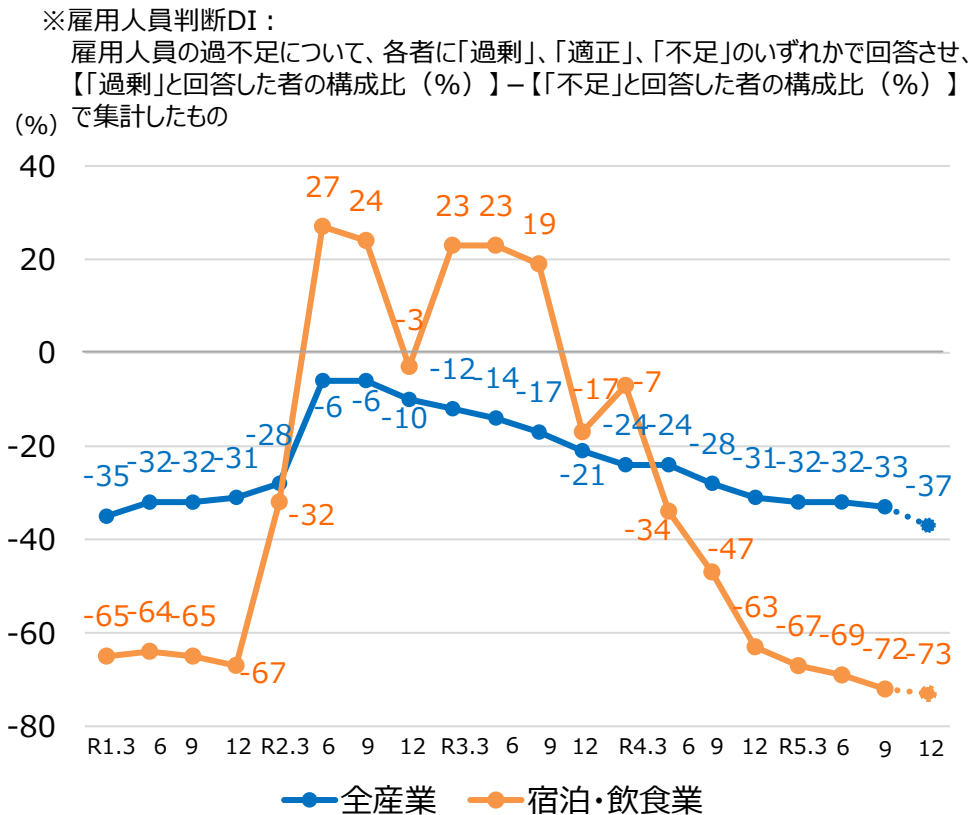
- **宿泊業**については、他業種と比較して**欠員率が高く**、構造的な課題として**人手不足**に陥っている。
- 直近においては、全国旅行支援の実施や水際措置の緩和等による観光需要の回復等に伴い、**雇用人員判断DIが悪化する**など、**人手不足感が高まってきている**。

欠員率の推移



出典：厚生労働省「雇用動向調査」
※全業種で9,029者が回答（R4年上半期調査）

雇用人員判断DI（日銀短観）の推移



出典：日本銀行「全国企業短期経済観測調査」（日銀短観）
※全業種で9,111者が回答（R5年9月調査）
※R5年12月はR5年9月時点における「先行き」の数値

- 国内外の**観光需要が急速に回復**する一方、**観光客が集中する一部の地域や時間帯等によっては、過度の混雑やマナー違反による地域住民の生活への影響や、旅行者の満足度の低下への懸念も生じている状況。**
- **地方部への誘客をより一層強力に推進**するとともに、観光客の受け入れと住民の生活の質の確保を両立しつつ、**持続可能な観光地域づくり**を実現するため、**地域自身があるべき姿を描いて、地域の実情に応じた具体策を講じる**ことが有効であり、**国として**こうした取組に対し**総合的な支援**を行う。

1. 観光客の集中による過度の混雑やマナー違反への対応

■ 受入環境の整備・増強

- ・「タクシー不足に対応する緊急措置」
- ・交通手段や観光インフラの充実
- ・宿泊業の採用活動やDX化推進



■ 需要の適切な管理

- ・人気観光地の入域管理や混雑運賃の設定 京都駅～金閣寺間の乗合タクシー
- ・パークアンドライド駐車場の整備や代替

■ 需要の分散化・平準化

- ・混雑の可視化や空いている観光ルートの提案
- ・高速道路料金割引の見直し



捨てるな
Do not throw
rubbish

ピクトグラムの例

■ マナー違反行為の防止・抑制

- ・統一ピクトグラムの策定、周知
- ・看板・デジタルサイネージの設置

等

2. 地方部への誘客の推進

■ 11モデル地域における高付加価値なインバウンド観光地づくり

地域のコアバリューを磨き上げ、それを体感できるコンテンツや宿泊施設の充実等により滞在価値を向上させる、高付加価値な観光地づくりを促進



■ 全国各地で特別な体験や期間限定の取組等を自然、文化、食、スポーツ等の様々な分野で創出し、全世界に発信

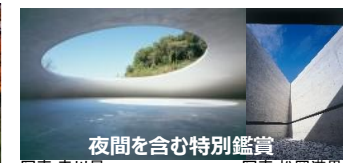


写真:森川昇

写真:松岡満男

■ 中部山岳国立公園、やんばる国立公園など4国立公園における魅力向上とブランド化

等

3. 地域住民と協働した観光振興

■ 地域の実情に応じた1. 及び2. に掲げる対策を促進すべく、住民を含めた地域の関係者による協議に基づく計画策定や、取組の実施への包括的な支援を実施

- ・地域の関係者によるオーバーツーリズムの未然防止・抑制のための取組計画の策定、実践
- ・計画に基づく実証や取組の本格実施への包括的な支援を全国約20地域で実施し、先駆モデルを創出



地域の協議の様子

等